



ふくしまの弥治郎系こけし

令和3年4月1日（木）～8月1日（日）

左より 佐藤誠 佐藤春二 佐藤栄治 源

公益財団法人 東邦銀行教育・文化財団附属 原郷のこけし群 西田記念館
〒960-2156 福島市荒井字横塚3-183(アンナガーデン内) TEL：024-593-0639

- 【ご利用案内】
- 入館料 一般 300円（団体20名以上250円） 中学生以下無料
 - 開館時間 10:00～17:00（最終入館16:30）
 - 休館日 毎週月曜日（祝日の場合は翌日）



上:渡辺 求

下:井上 ゆき子

上:佐藤 喜一

下:佐藤 誠孝

福島県の伝統こけしは土湯こけしや中ノ沢こけしがよく知られていますが、宮城県白石市発祥の弥治郎系こけしも作られています。

弥治郎系こけしは江戸末期に遠刈田系こけしの影響を受けて作り始められ、その後独自に発展しました。こけし作りは農家の副業として農閑期に行われ、近くの鎌先温泉の湯治客に売られていたといいます。その特徴は頭頂に多色のロクロ線模様を描き、胴には太いロクロ線を基本としながら襟や裾を加えた衣装模様、菊模様が描かれます。

今回は弥治郎で修業した工人が産地を離れて福島に移り住み、熱塩、磐梯熱海、いわき、飯坂それぞれの地域で受け継がれたこけしをご紹介します。

【交通のご案内】

バス（福島交通）

・土湯温泉行

福島駅東口より約30分

自治研修センター前 下車 800m

車

・福島西I.C.より10分

・福島飯坂I.C.より40分

